

アメリカ在住家庭、必読！プロに教えてもらった バイリンガル教育の

ヒント

永住を予定している人も、駐在の人もお子さんを「バイリンガルにしたい」と考えていらっしゃる方は少なくないと思います。しかし、環境や個性によって、教育の仕方やゴールは異なります。そこで、バイリンガル教育を実践するためのヒントをプロや体験者に伺いました。



専門家
インタビュー

01

子どもたちの特性に合った教育を

California State University, Long Beach の片岡裕子教授とダグラス・小川昌子教授、知念聖美准教授は、日米のバイリンガル教育を研究されています。そこで、今回、3人の専門家にバイリンガル教育の概念について伺い、編集部でまとめました。

環境や目的で異なるゴール

一口に「バイリンガル」と言っても、言語力の違いで、大別すると3段階に分かれます。両語とも年齢相応の母語話者なみに使える「プロフィシエント・バイリンガル」、一言語は母語話者なみの年齢に応じたレベルであっても、他方はそこまで達していない「パシヤル・バイリンガル」、どちらもある程度はできるけれど両言語とも年齢に応じた母語話者なみの発達をしていない「リミテッド・バイリンガル」があります。大抵のバイリンガルはどちらかの言語がもう一つの言語より強いパシヤル

ル・バイリンガルになります。

第2言語の習得には個人差が大きく、言語の学習開始時期や子どもの性格、友人など、多数の環境要因が影響してきます。バイリンガルを目指す動機やゴールも、日本の

親戚と話せる程度の日本語力をめざすのか、日本の企業などで働かせたいのかなどさまざまです。

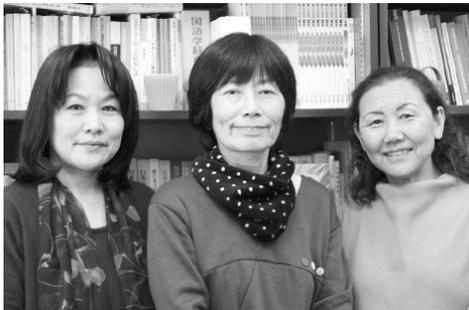
加えて、子どもの言語接触量や言語習得能力によって、バイリンガルへのアプローチも異なります。日本語を使う環境や必要性がほとんどないのに無理やり勉強させると、子どもは日本語に興味がなくなるばかりか、日本

語が嫌いになり、親子関係を悪化させてしまいかねません。言語習得の目的やゴールを明らかにし、各子どもの言語習得力や言語・文化への興味を見ながら、その子に合った教育をしてください。

国際結婚の場合、日本語を話さない配偶者が、疎外感を感じて非協力的になることもあるので、その場合は、家族全員の時は英語、日本語を話す親とは日本語という使い分けの工夫が必要です。

話し言葉を まず習得

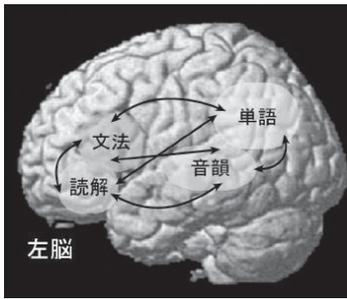
言語というものは、生活体験をする中で発音や



右から、片岡裕子教授、ダグラス・小川昌子教授、知念聖美准教授

バイリンガル教育の注意点

- すべての子どもが高度のバイリンガルになれるわけではない
- バイリンガルに育てるためのマニュアルはない
- 子どもの興味・能力にあった教育
- 家庭での使用言語は日本語



脳内の言語地図を作成

東京大学大学院 酒井邦嘉教授

人間が言語を学ぶ場合、文法、読解、単語、音韻（アクセント）の4機能が関連しているとされ、それは英語も日本語も変わりません。

研究によって、この4機能はそれぞれ左脳に分かれて存在し、文法、読解領域は前頭葉、単語領域は頭頂葉、音韻領域は側頭葉にあること、また、それぞれ神経繊維で相互につながって情報をやりとりしながら機能していることが分かりました。それで、私はこの状況から「言語地図」を作成しました。

これら4領域は 熟達度に応じて活動の仕方が異なり、英語の熟達度が低い脳は、各領域が活発に活動するのに、熟達度が高い脳はわずかしが活動しなくなります。英語力が高い人ほど脳を使わなくても処理できるようになるため、この省エネになった脳こそがバイリンガル脳です。意識することなく省エネ脳になるには約6年かかることが分かっています。

4つの領域のうち、文法と音韻の2領域は、6歳くらいまでの脳の柔らかい時期に出来上がりますが、仕上がりには個人差があり、それが語学のセンスにつながります。

一方、単語や読解領域は思春期に遅れて出来上がりますが、生涯にわたって鍛えることができ、読書の効果が大きいと考えられています。

習熟度UPで脳は省エネ化

その際、日本語習得のバロメーターとして、漢字に注目しがちですが、漢字ができてコミュニケーションに必要な話し言葉や語彙、文型を含め

た日本語全体が伸びているとは言えません。話す力、聞く力をできる限りつけることが重要です。

家庭で日本語を学ぶ場合、特に読みの力をつけていくために、私たちが初期の段階で推奨しているのは日本の漫画やアニメ、ゲームなどです。

ただし、それには授業が理解できて、通学が負担でないことが大前提です。日本語が嫌いになっ

「国語教育」とは異なった指導をしなければなりません。

一方で、日本語を第1言語とする子どもには、現地校に通い始めても、それまで話してきた日本語が、その子にとってはコミュニケーションを

例えば、漫画にはイラストがあるので分からない語が出てきても、イラストが理解の助けになります。子どもは、興味があれば、言葉を獲得し

元も子もありません。日本語学校にはいろいろな学校があるので、どのタイプの学校が子どもに合っているかをみて、楽しく学べる学校に行かせてください。

しかし、アメリカで日本語を学ぶ場合、何も話せないのに、ひらがな、次にカタカナ、そして漢字を教える学校が多々あります。しかし、生活環境が日本語でない場合は、日本で行っているような

一般的に、習得の速い子どもで日常会話に2〜3年、教科内容を理解するための学習言語の習得では平均で4〜8年かかるという研究があります。

漫画やゲームで楽しく学ばせる

家庭内では話す内容は限られており、会話のレベルの域を出ないので、家庭で学ばない学習言語を習得できる補習校や日本語学校は有効だと思

第1言語を大切に

家庭内では話す内容は限られており、会話のレベルの域を出ないので、家庭で学ばない学習言語を習得できる補習校や日本語学校は有効だと思

補習校などで学習言語を習得

家庭内では話す内容は限られており、会話のレベルの域を出ないので、家庭で学ばない学習言語を習得できる補習校や日本語学校は有効だと思